

区長および住民との意見交換会における主なご意見

1. くらし

医療

- ・ 町立病院を再度つくってほしい。

高齢者福祉

- ・ 独居の高齢者にタクシーチケットを配布して欲しい。

子育て世代・子どもの定住促進

- ・ 今まで住んできた人が益城に戻ってくる、新しく人が入る、というモデルを作って欲しい。
- ・ 若い人は益城から出て行っている人も多い。若い人が益城に戻りたい、益城で子供を育てたい、その子供が益城に戻ってくる、というまちをぜひ作っていただきたい。
- ・ 若いママたちは、町で集まる場がない、遊ばせるところがないと言っています。子どもの遊び場、図書館のような集いの場を提供してください。
- ・ 現在の子どもたちが復興に大きく関わっていくと思う。せっかくの人口増のメリットであった、中3までの医療費無料の施策を活かしていただきたい。

教育

- ・ 益城町に高校や大学をつくってほしい。

文化施設

- ・ 図書館を早期に復旧・復興して欲しい。

子どもの心のケア

- ・ これからは将来のこと、子供のことを考えるべき。夜、寝られない子供もいると聞いている。図書館から本を借りてきてお母さんに呼んでもらう、という安らぎの時間を子供たちに提供してあげて欲しい。

文化

- ・ 神社仏閣や城址の補修について、町から補助してほしい。

防災意識の向上

- ・ 住民の防災意識の向上を図るということで、4月14日を益城町の防災の日と制定し、その日に大々的な防災訓練を行ってほしい。
- ・ 断層の位置を示す標識を設置することで、地震のことを忘れないことが重要。

公民館

- ・ 公民館の補修・解体・補修に対して、町からの支援をお願いしたい。

- ・ 公民館を自然災害時（地震、台風等）の避難場所として活用できるようにしてほしい。
- ・ 行政区をまたいで公民館を共同利用していくことを検討したい。

コミュニティ

- ・ 復興住宅について集落単位で整備を進めてほしい。地域コミュニティを維持することは重要。
- ・ 消防団の活動を再開したいが、若い人は働きに出ている。

2. まちづくり

住宅解体

- ・ 住宅解体の優先順位付けの考え方、今後のスケジュール、スピードアップのための工夫はどのようなものか。
- ・ 住宅解体によって発生する廃材の置場は決まっているのか。
- ・ 不在の家のブロック塀や石垣が壊れてきているので、対応をお願いしたい。

応急仮設住宅、災害公営住宅

- ・ 仮設住宅の建設場所の考え方、避難所未入居者の状況、仮設住宅の建設・入居予定、仮設入居2年経過後の扱い、元の住居地域との関係について説明してほしい。
- ・ 災害公営住宅の建設見通しについて説明してほしい。
- ・ 住宅敷地内に小屋を建てたりユニットハウスを設置したり住んでいる費用を支援してほしい。

住宅再建

- ・ 住宅再建までのプロセスを早く示してほしい。危険地域とされているところに家を建てても大丈夫か。地盤調査の結果、元々の場所に家を建てられないということもありえるのか。
- ・ 住宅と住宅の間の石垣や擁壁の補修費用についても支援をお願いしたい

土地利用、区画整理等

- ・ 区画整理の対象エリアを早く示してほしい。
- ・ 区画整理にあたっては、各種条例の緩和も考えてほしい。
- ・ 都市計画はどこが中心となって進めていくのか。

集団移転

- ・ 最も被害の大きかった秋津川沿いの住宅・土地の集団移設をぜひ実現してほしい。
- ・ 第二空港線沿いの農地は調整区域であるので自由には使えないと聞いているが、調整区域から除外し、発展させたらよいのではないか。

耐震診断・補強

- ・ 住宅の耐震診断・耐震工事への補助制度を設けて欲しい。

役場庁舎

- ・ 庁舎建替えについての考え方を教えてほしい
- ・ 益城町の復興を考えたとき、庁舎がどの位置にどのような形でできるかというのは非常に重要。
- ・ 役場庁舎の移転は町民の安全のため必要。早めの対応して欲しい。

道路

- ・ 県道高森線の拡幅を是非とも進めてほしい。
- ・ グランメッセ線の拡幅と周辺の開発を期待したい（農振解除も含め）。
- ・ 道路の補修をお願いしたい（個別の道路、橋と道路の段差、信号・ミラーを含む）。
- ・ 離合もできないような狭い道路も多いので、そういうところも含めた再整備をお願いしたい。

川（橋・堤防）の復旧、他の災害への対応

- ・ 川、堤防の補修をお願いしたい（個別含む）。
- ・ 木山川や秋津川沿いの道路と川の高さに大きな差が生じている。どの高さで復旧するかを教えて欲しい。
- ・ 河川沿いの土囊について、景観の観点から改善を検討して欲しい。
- ・ 消防小屋の修復をお願いしたい。

防災公園の整備

- ・ 主要幹線道路近くに避難所として利用できる公園が必要。

交通

- ・ 仮設団地向けのバスの充実をお願いしたい（テクノ→安永第三→安永第二）。
- ・ 市電の延長など、交通網を整備して欲しい。

3. 産業

農業

- ・ 河川決壊による水田被害の復旧見通しを教えてほしい。
- ・ 今後の農業振興の考え方について教えてほしい。
- ・ 農産物の販売拠点を整備して欲しい。

企業誘致・産業拠点整備

- ・ 産業経済の再生のために産業の拠点を整備するにあたって、都市計画上の制約などがあるのであればその制約を外すということも検討していただきたい。
- ・ 雇用の確保のため、企業の誘致を検討して欲しい。

商業

- ・ ホームセンターや食料品店、ショッピングセンター等を誘致してほしい。
- ・ 飲食店を早く復旧させてほしい。

観光・レジャー

- ・ 将来（10年後・20年後）を見据え、飯田山・船野山・朝来山（益城3山）を熊本地方のレク施設として日帰りで親子が楽しめるコースや、木山川・秋津川をつかった癒しのゾーンを整備できないか。

復旧・復興工事の発注

- ・ 復旧復興に向けて様々な工事を地元の業者に発注することで、雇用の場を生んで欲しい。

その他

計画策定の進め方

- ・ 町の復興に対する町としての考え方を伺いたい。
- ・ 対象地域は「町全体」となっているが、全て同じように進められるのか。
- ・ 復旧・復興を進めるにあたっての財政面の裏づけを教えてください。
- ・ 復興が成功するかどうか、10年後の町を考えるためには、若い人たちの意見が重要。若い人たちの意見を把握する機会をつくってほしい。

住民への情報伝達方法

- ・ 有線放送の改修、防災無線の修理・強化を町で実施してもらいたい
- ・ 災害FMや広報車を使って各種連絡をしてほしい
- ・ 回覧板での情報発信は、ある程度まとめて、かつ定期的を実施してほしい
- ・ 町外に出ている人にはどのような情報発信がされているのか
- ・ マスコミを上手に活用して情報発信してほしい
- ・ 検討段階の情報でいいので、国や県との調整状況を含め、積極的に町民に対して情報発信してほしい

庁内体制

- ・ 役場に連絡する場合、どこに連絡したらいいかわからない（復興課と他課との関係がわかりづらい）。

国・県への要望

- ・ 国への要請についてはしっかりお願いしたい。

生活資金支援

- ・ 一部損壊の家に対する見舞金等は存在しないのか。
- ・ 生活再建資金制度の申請期間（13ヶ月）の延長はないのか。
- ・ 固定資産税や市民税の減免措置はないのか。
- ・ 町営住宅の家賃返却はないのか。

以上